

「住んで最高！筑西。」の実現のため みなさんとともに歩む一年に

あけましておめでとうございます。みなさんには健やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年（うとし）は「飛躍の年」であると言われる。我が筑西市も大きく飛躍する一年となるよう市政運営に取り組んでいきますので、みなさんには引き続き、市政へのご理解とご協力をお願いします。

昨年を振り返り

昨年を振り返ると、4月から開催した「板谷波山生誕150年記念事業」、7月の「下館祇園まつり」、8月の「あけのひまわりフェスティバル」、10月の「大相撲筑西場所」と「ちくせい花火大会」、12月には3年ぶりの「ちくせいマラソン大会」に、多くの方々が足を運んでいただき、コロナ禍によって遠ざかっていたまちのにぎわいが筑西市に戻ってきました。そして、市の一大交流拠点である道の駅グランテラス筑西では、5月に利用者数300万人を達成しました。このように、まちが活気にあふれていることを大変喜ばしく思います。

人口減少に一つのきざしが

また、人口減少問題については、5月から10月まで連続で、



筑西市長
須藤 茂

本市への転入者の人数が転出者の人数を上回りました。

これは、筑西市誕生以来初めてのことで、市内のイベントの盛り上がりやさまざまな取組みにより、まちの知名度と魅力が向上したことが要因の一つだと思います。

反面、人口減少は続いていることから、今後も誕生祝い金の贈呈や入学祝品の贈呈など、妊娠から出産・子育てまで切れ目のない支援を行うとともに、移動販売などの高齢者支援を進め、誰にとってもやさしいまちづくりに取り組んでいきます。

大きく飛躍する一年へ

今年の4月には、下館北中学校が下館中学校に統合され、また来年4月には義務教育学校「明野五葉学園」開校と、本市の教育において重要な局面を迎えます。

より良い教育環境の整備により、未来を担う子どもたちの育成に取り組むとともに、引き続き子育て支援や高齢者支援、にぎわいの創出など「住んで最高！筑西。」の実現のため、みなさんとともに歩む一年にしたいと考えています。

結びに、みなさんにとって幸多い一年となることをご祈念申し上げます、年頭のあいさつとします。